

環境安全基本法請願署名 キックオフ集会

アメリカで進む 有機フッ素化合物 (PFAS)対策 バイオモニタリング制度はどう活かされているか？

国民会議では、2021年4月より「環境安全基本法」制定に向けての国会への請願署名活動を開始しています。

国民会議の弁護士たちが作り上げた「環境安全基本法(案)」の中には、有害化学物質の被害から国民を守るために必要な施策が盛り込まれています。

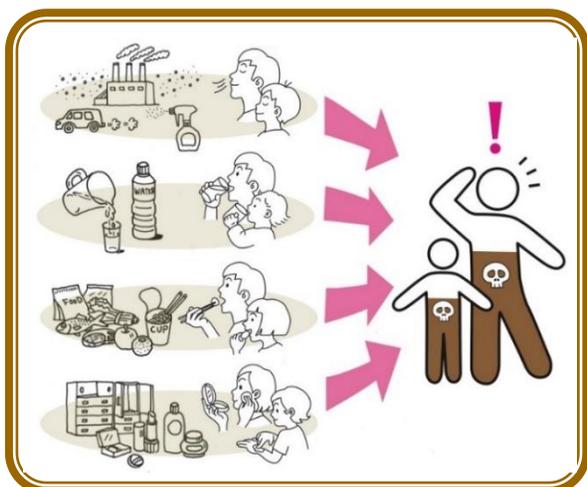
その一つが、国民がどの程度有害化学物質に汚染されているのかを調べるバイオモニタリング制度。また有害物質の汚染された地域住民に対する積極的疫学調査なども含まれています。

アメリカでは、すでにそうした施策が実施されていて、有害物質による健康影響を防ぐために活用されています。

今回、署名活動のキックオフ集会に際して、アメリカの環境NGO Environmental Working Groupのターシャ・シュトイバー博士に、アメリカで汚染が広がっている有機フッ素化合物(PFAS)の対策に、どのように活かされているのかをお話しいたします。

講演の後には、環境安全基本法のわかりやすい説明も行います。

世界に大きく後れを取っている日本の有害化学物質対策を、みんなの力で一歩前進させましょう。



このセミナーは
地球環境基金の助成を受けて開催されます。



2021年6月17日(木)

午前10時～午後12時半

講師アメリカからのオンライン参加のため
日本時間で午前中の開催となります。



新型コロナ感染対策のため

Zoomウェビナーでライブ配信
逐次通訳付き



無料

参加ご希望の方は、

メール(kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp)

でお申し込みください。ウェビナーのライブ配信URL
をお知らせします



ターシャ・シュトイバー博士

Tasha Stoiber

(Environmental Working Group)



有害化学物質と公衆衛生の専門家。水や空気中の汚染物質や、消費者製品に使われる有害化学物質の研究も多数。EWGに参加する前は、環境エンジニアとしての実績がある。カリフォルニア大学デービス校とアメリカ地質調査所において博士課程修了後、ナノ分子の生体毒性の研究を行っていた。

お問い合わせ お申込み

NPO法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4階

Tel.03-5875-5410 Fax.03-5875-5411

Homepage: www.kokumin-kaigi.org

Email: kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp